

2022年7月6日

国内建築用ガラス関連製品の価格を改定

AGC（AGC株式会社、本社：東京、社長：平井良典）は、国内の建築用ガラス関連製品の販売価格を、10月1日納品分より引き上げることいたしました。引き上げ率は、フロートガラスが約40%、型板ガラスおよび網入型板ガラスが約35%、網入磨き板ガラスが約30%、ミラーが約20%、建築用加工ガラスの内、主要製品については25～30%の予定です。なお、一部の製品に関しましては記載以上の価格改定をお願いする場合がございます。

AGCグループの国内の建築用ガラス事業においては、原燃材料・副資材価格・物流費などの急騰に加えて、急激な円安の進行に伴い、各種コストが著しく上昇しております。

このような環境の下、AGCグループでは生産性改善、コスト削減等の企業努力を継続しておりますが、自助努力だけで今回のコストの急騰を全て吸収することは難しい状況と判断し、建築用ガラス関連製品の価格改定を実施することといたしました。

AGCグループは、中期経営計画 **AGC plus-2023** において、建築用ガラス事業の収益性および資産効率の改善をグループ経営上の重点課題として取り上げ、様々な施策に取り組んでいます。国内建築用ガラス事業においては、長年にわたる安定的な供給および事業収益性の改善を通じて、継続的な社会的・経済的価値の創出を実現いたします。

以上

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC株式会社 広報・IR部長 小川 知香子

(担当：中尾 TEL: 03-3218-5603 E-mail: info-pr@agc.com)

個人情報 は 当社 プライバシー ポリシー に 従っ て お取 扱 い を さ せ て い た だ き ま す 。